

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

証券コード 6862

MINATO

2025年3月期 第3四半期
決算説明資料

ミナトホールディングス株式会社

2025年2月10日

1. 2025年3月期 第3四半期決算ハイライト	3
2. 2025年3月期 第3四半期連結業績	7
3. セグメント別 第3四半期業績	14
4. ミナトグループの成長戦略	28
5. 株主還元	37
6. Appendix 会社概要とグループ会社の事業内容 . .	42

1. 2025年3月期 第3四半期決算ハイライト

国内：8社

海外：2社

【デジタルデバイス】



サンマックス・テクノロジーズ

港御（香港）
有限公司

【デジタルエンジニアリング】

MINATO

ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ



エクスプローラ

港御（上海）
信息技术有限公司

【ICTプロダクツ】

PRINCETON

プリンストン

【その他】



Japan Joint Solutions

日本ジョイントソリューションズ

Rivers inc.

リバーズ



ミナト・フィナンシャル・
パートナーズ

持分法適用会社



DediProg

DediProg Japan

売上高 18,243百万円（通期業績予想進捗率 79%※）

営業利益 669百万円（通期業績予想進捗率 91%）

※ 2025年2月10日付で上方修正した2025年3月期の売上高予想数値に対する進捗率

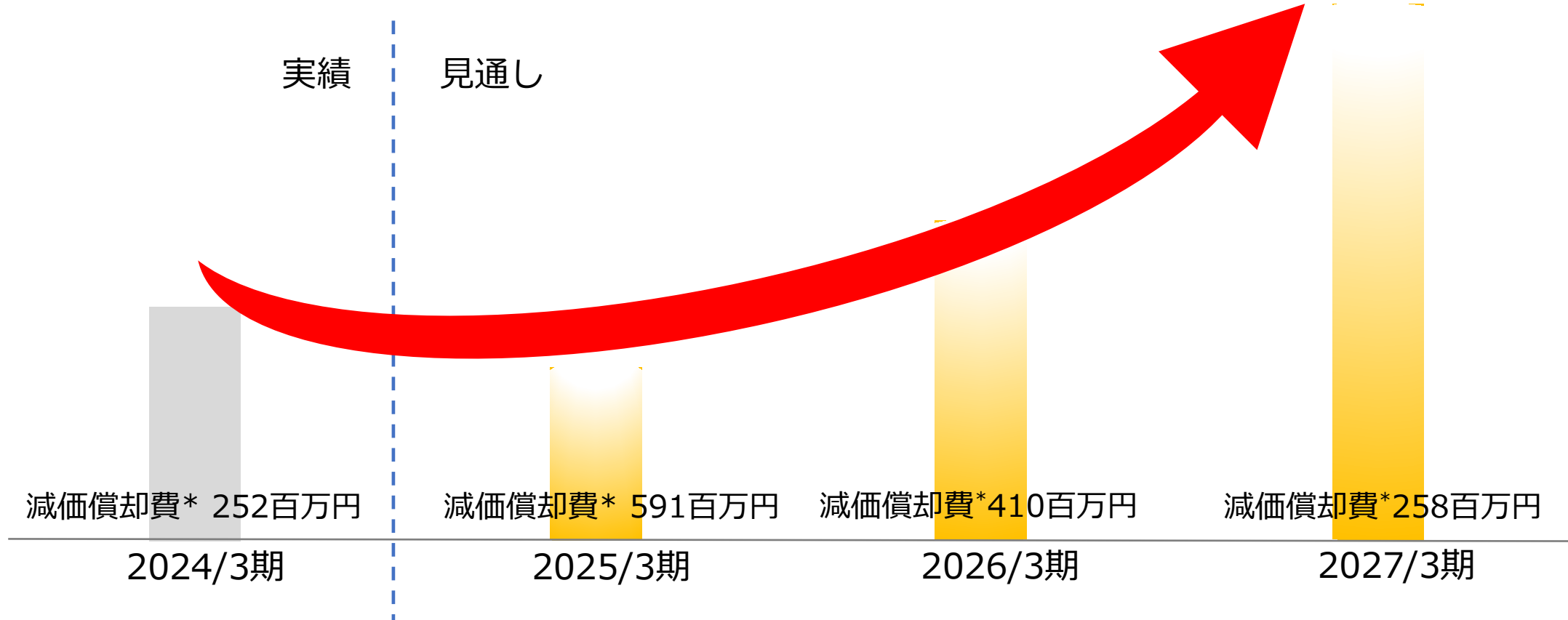
売上高が大きく伸張したことから、2025年3月期の売上高予想数値を20,000百万円から23,000百万円へ上方修正。利益額の通期業績予想は据え置き前期比減益予想だが、2026年3月期以降は業績回復を見込む。

<2025年3月期 通期業績予想>

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想	20,000	735	665	485
今回修正予想	23,000	735	665	485

減価償却費の増加に加え、顧客の生産動向の影響を受け、2025年3月期は前期比減益を見込むが、2026年3月期以降は書込み数量増加と減価償却費の逡減で、再び成長軌道へ。



* ROM書込み事業の建物・設備に係る減価償却費概算見込み

2. 2025年3月期 第3四半期連結業績

【デジタルエンジニアリング】の減益に加え、前期に特別利益として計上した子会社株式売却益が無くなったことも減益要因となったが、【デジタルデバイス】が業績を牽引。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	増減額	前年同期比
売上高	14,162	18,243	+4,081	+28.8%
営業利益	1,180	669	-511	-43.3%
経常利益	1,199	606	-593	-49.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	※1,503	392	-1,110	-73.8%

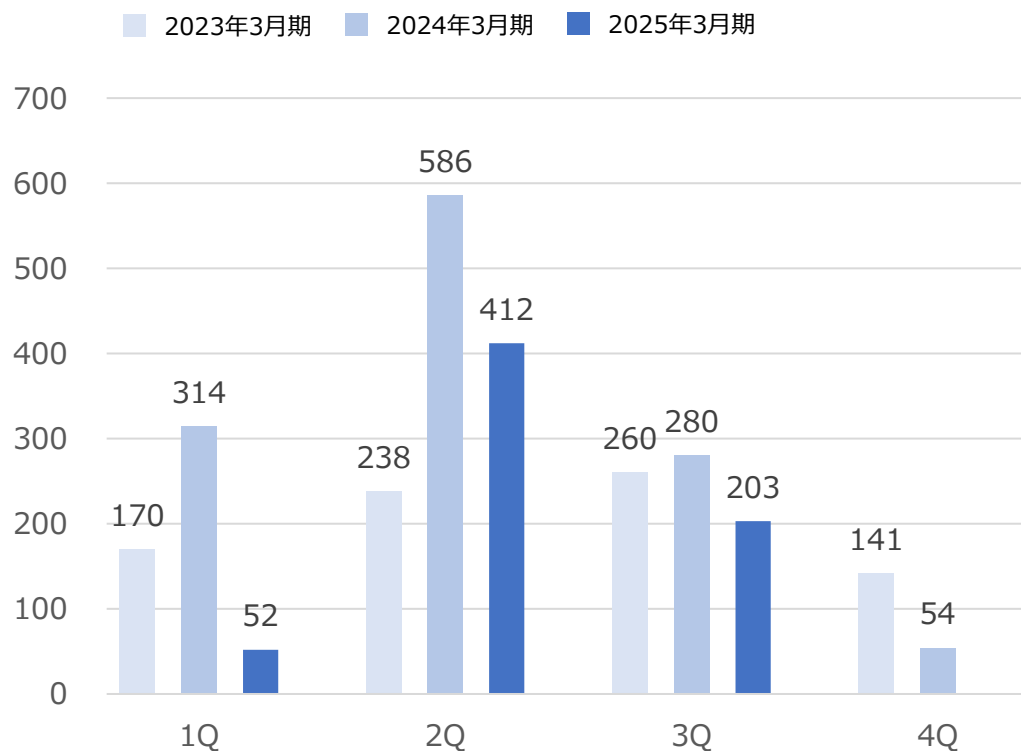
※ グループ会社の株式譲渡により、特別利益として関係会社株式売却益1,278百万円を計上

パソコン・サーバー需要の回復が顕在化しない状況が続くが、特に【デジタルデバイス】における既存顧客の新規案件獲得や大型スポット案件の受注等により、2Qに続き四半期売上高が好調に推移。

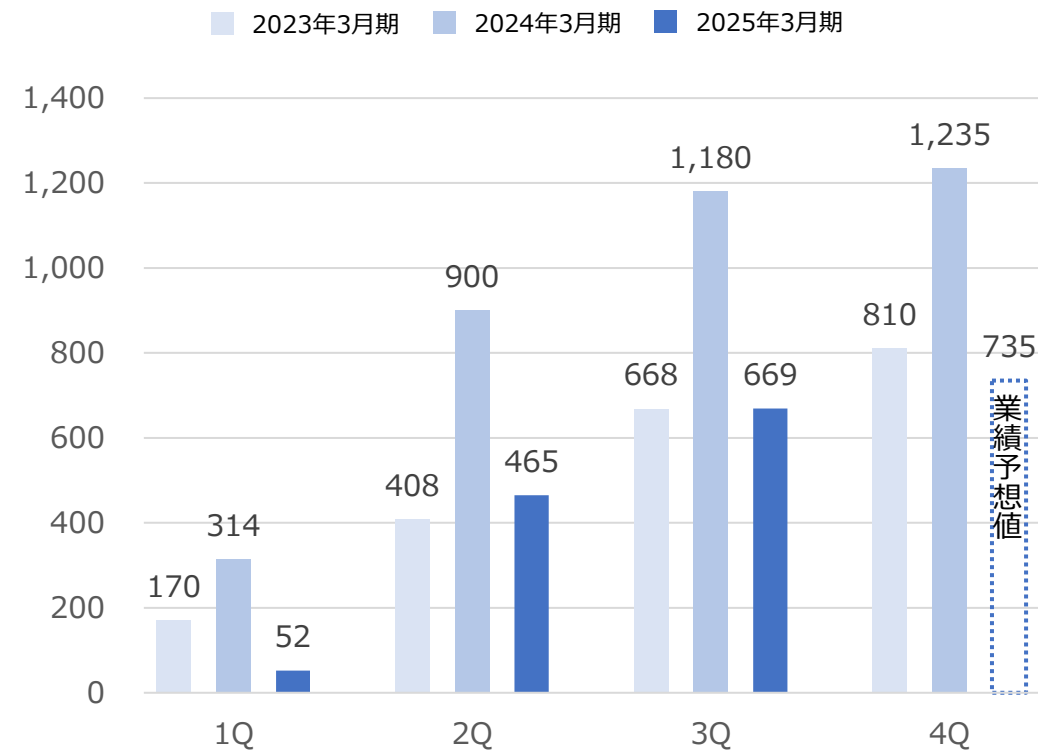


ROM書込み数量の減少や前期に実施した設備投資による減価償却費の増加等もあり、前期比減益で推移。

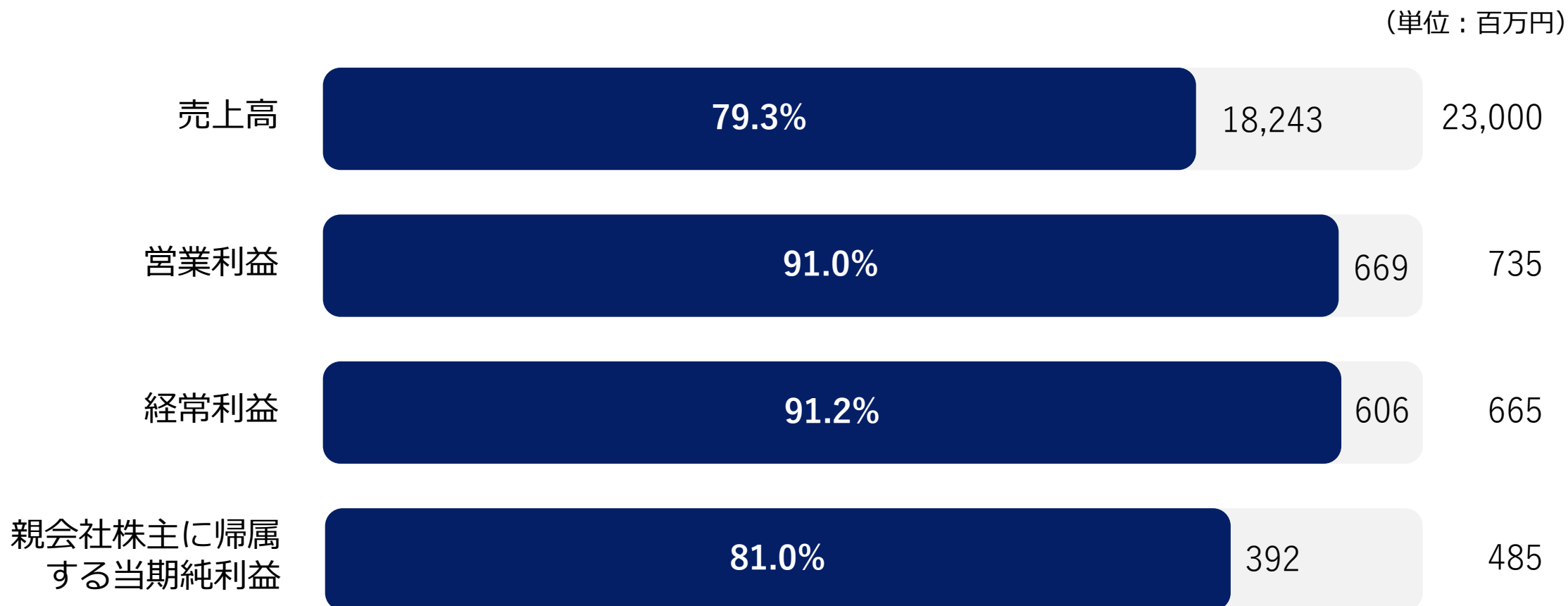
四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



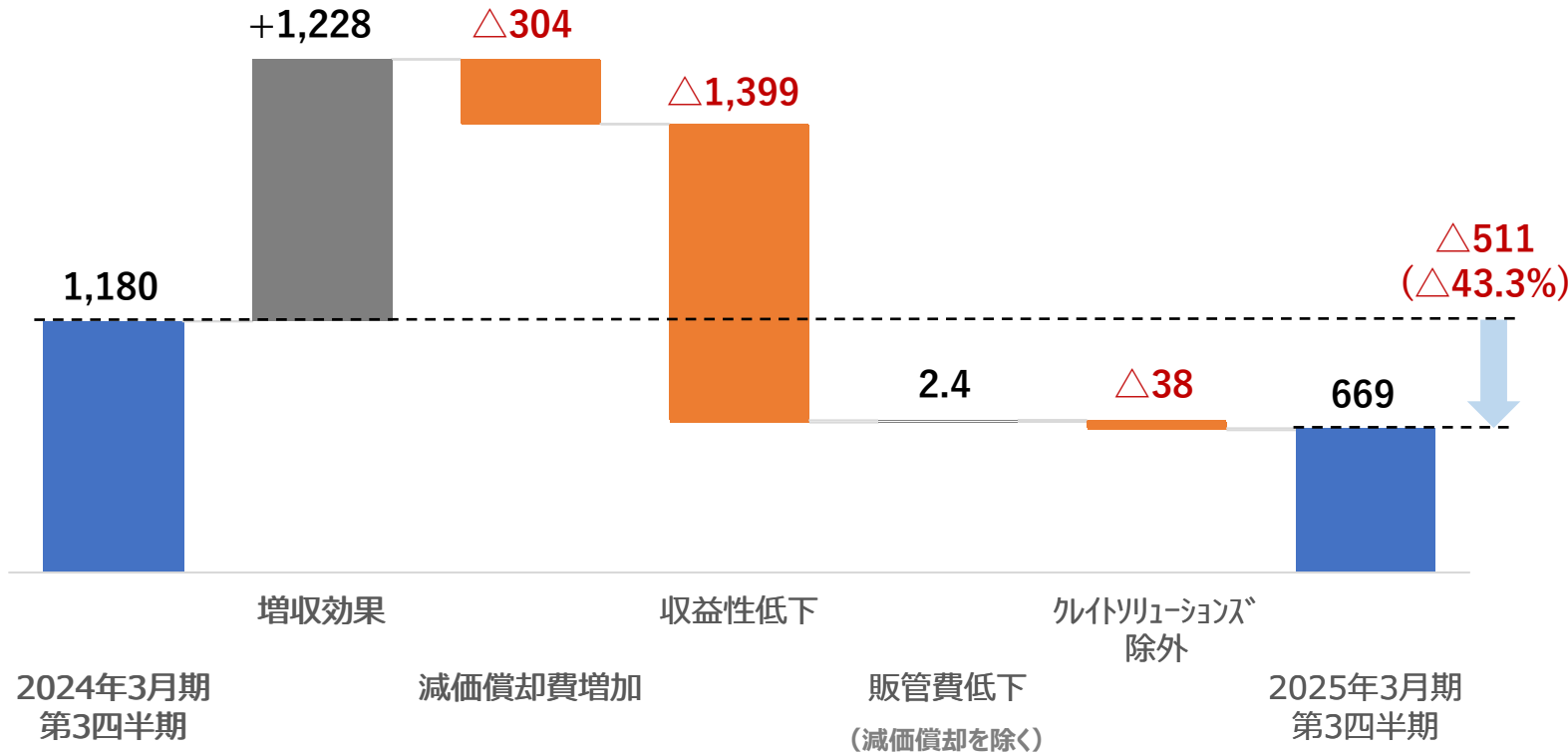
2025年2月10日付で売上高の通期予想数値を15%上方修正。通期連結業績予想の達成に向けて着実にグループ各社の事業を推進する。



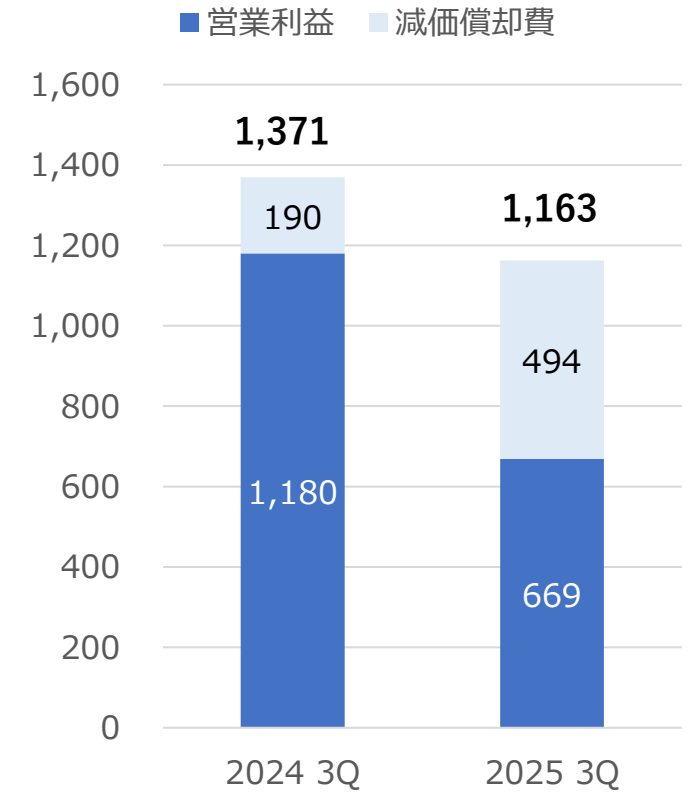
前期に実施した【デジタルエンジニアリング】の設備投資による減価償却費の増加や、ROM書込み数量の減少による収益性の低下等により減益。

(単位：百万円)

連結営業利益の増減分析



連結営業利益 + 減価償却費



第2四半期末との比較では、サンマックス・テクノロジーズの売掛金回収により短期借入金が増加。自己資本比率は33.8%。

(単位：百万円)

		2024年3月末	2024年12月末	増減額	
資産の部	流動資産	11,700	12,526	+825	
	現金及び預金	2,485	2,416	△68	
	電子記録債権及び売掛金	3,848	4,125	+277	電子記録債権及び売掛金 サンマックス・テクノロジーズ +609百万円 プリンストン ▲220百万円
	商品及び製品	3,326	3,041	△284	商品及び製品 サンマックス・テクノロジーズ ▲528百万円 プリンストン +277百万円
	固定資産	5,121	5,188	+66	
	有形固定資産	3,280	3,171	△109	有形固定資産 ミナトホールディングス +280百万円 (ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ新社屋)
	投資その他の資産	1,642	1,840	+198	ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ ▲372百万円 (ROM書込み設備の減価償却)
	資産合計	16,822	17,714	+892	
負債の部	流動負債	9,005	9,763	+758	
	電子記録債務及び買掛金	1,079	1,400	+320	
	短期借入金	5,120	6,500	+1,380	短期借入金 ミナトホールディングス +1,400百万円
	固定負債	2,067	1,968	△99	
	長期借入金	1,902	1,800	△102	
負債合計	11,072	11,731	+658		
純資産の部	株主資本合計	5,621	5,871	+249	
	自己株式	△252	△337	△84	
	純資産合計	5,749	5,983	+233	株主資本 親会社株主に帰属する四半期純利益 +399百万円 株主配当 ▲104百万円
負債・純資産合計		16,822	17,714	+892	

3. セグメント別 第3四半期業績

【デジタルエンジニアリング】のセグメントが前年同期比減収減益となるも、【デジタルデバイス】が大幅増収増益で全体の業績を牽引、【ICTプロダクツ】も増収増益で業績に寄与。

(単位：百万円)

セグメント名	2024年3月期 第3四半期 実績			2025年3月期 第3四半期 実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
【デジタルデバイス】	6,148	557	9.1%	10,669	1,230	11.5%
【デジタルエンジニアリング】	2,775	1,252	45.2%	2,057	-25	-1.2%
【ICTプロダクツ】	4,919	25	0.5%	5,388	83	1.5%
【その他】	649	38	5.9%	395	4	1.1%

(※セグメント間の内部売上高または振替高を加えたセグメント売上高を表示しています)

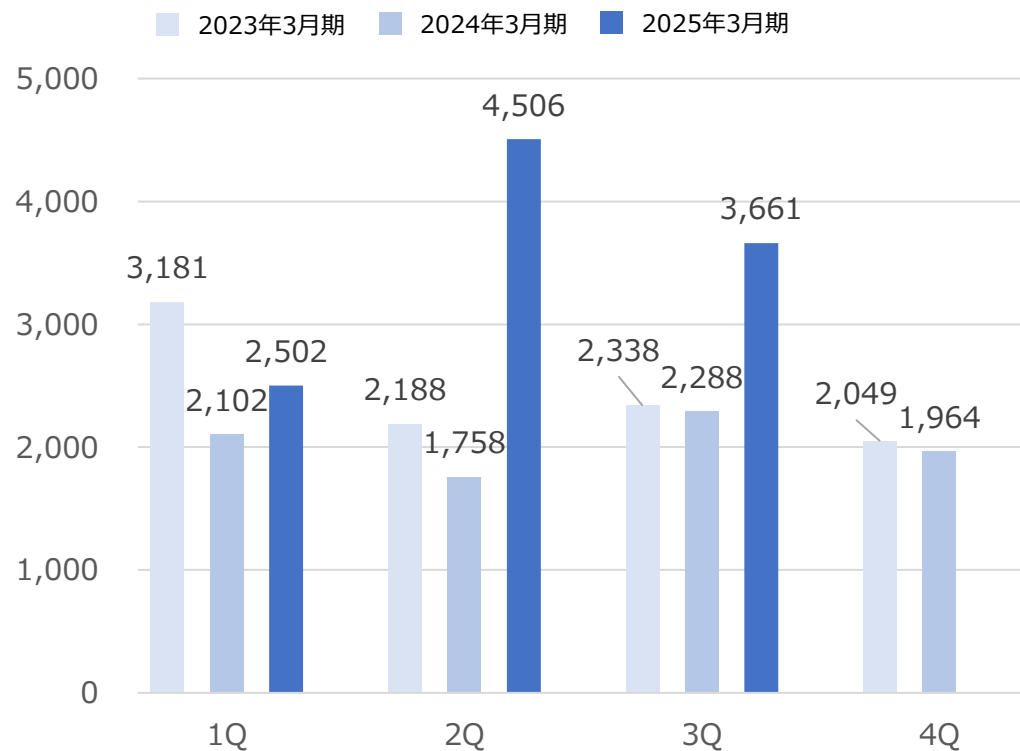
セグメント名	業績コメント
【デジタルデバイス】	既存顧客の新規案件獲得が進んだことに加え2Qに続き大型スポット案件の受注もあり、大幅な増収増益を達成。
【デジタルエンジニアリング】	ROM書込みサービスにおいて、前期に実施した設備投資に係る減価償却費の増加、および一時的な書込み数量の減少により減収減益。
【ICTプロダクト】	据置型会議システムの需要が軟調に推移しているが、デジタル関連機器事業における大型案件の受注や新規プロダクトの取り扱い開始等により増収増益。
【その他】	各事業において案件獲得が進んだものの、当第3四半期においても費用が先行。2023年6月に全株式を譲渡した株式会社クレイトソリューションズを連結範囲から除外したことにより、売上高、利益ともに大幅な減少。

関連グループ会社：  SanMax Technologies

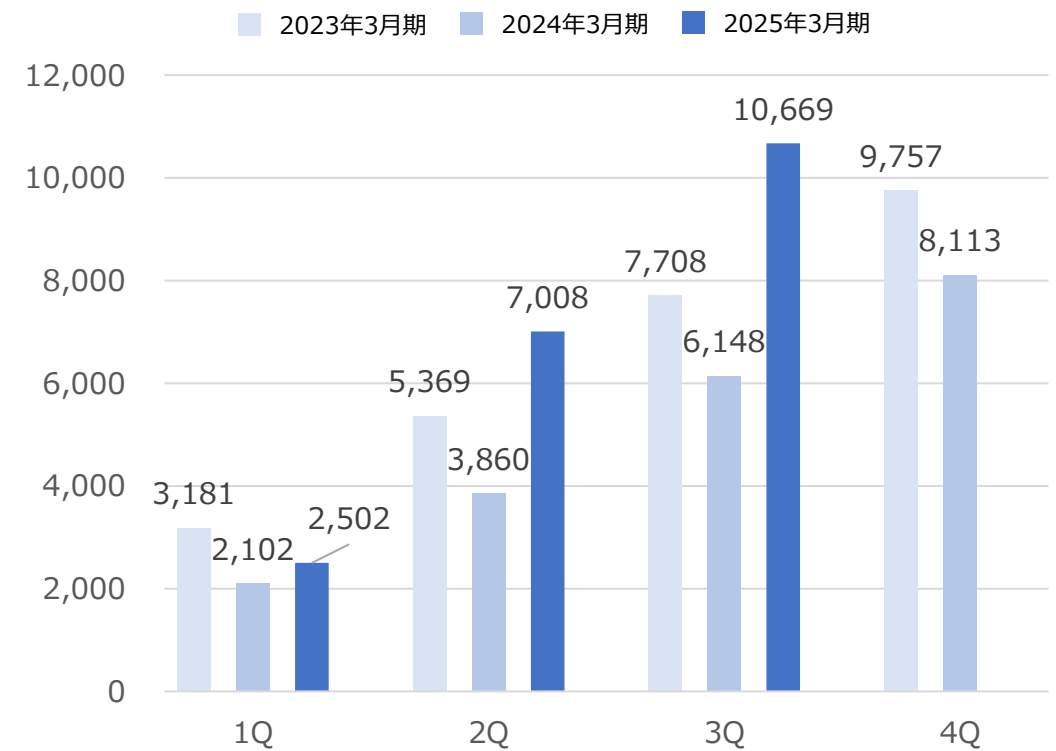
港御（香港）
有限公司

既存顧客の新規案件獲得が進んだことに加え、第二四半期に続き大型スポット案件の受注もあったことから、売上高は大幅に増加。

四半期売上高 (単位：百万円)



累計売上高 (単位：百万円)

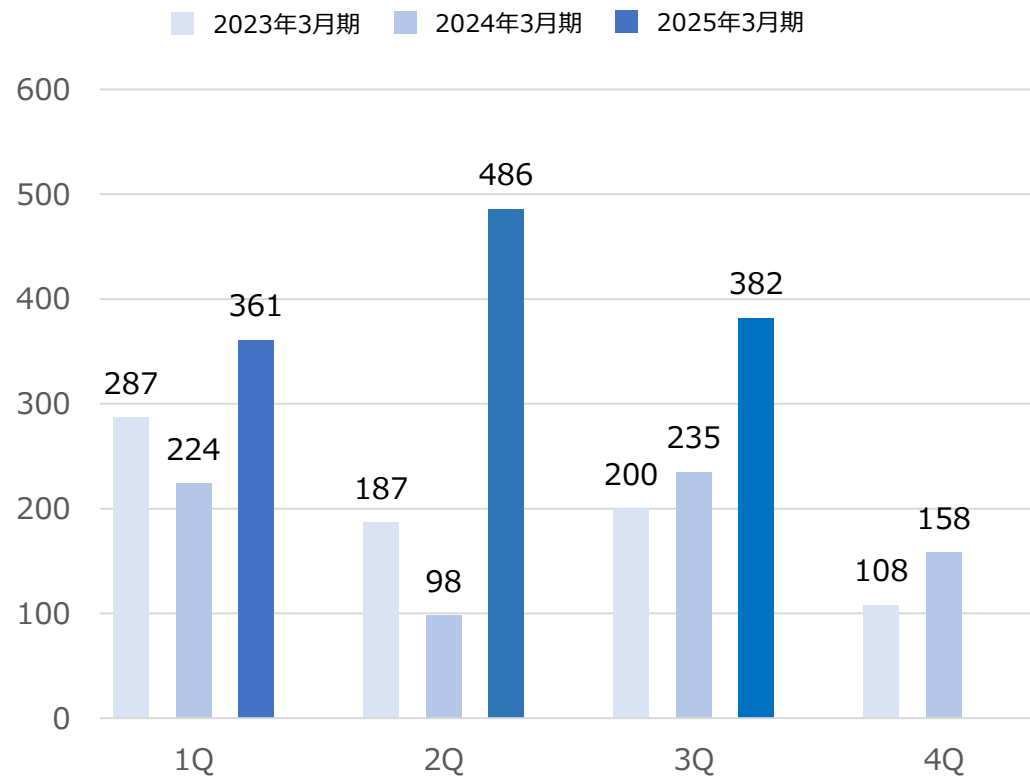


関連グループ会社：  SanMax Technologies

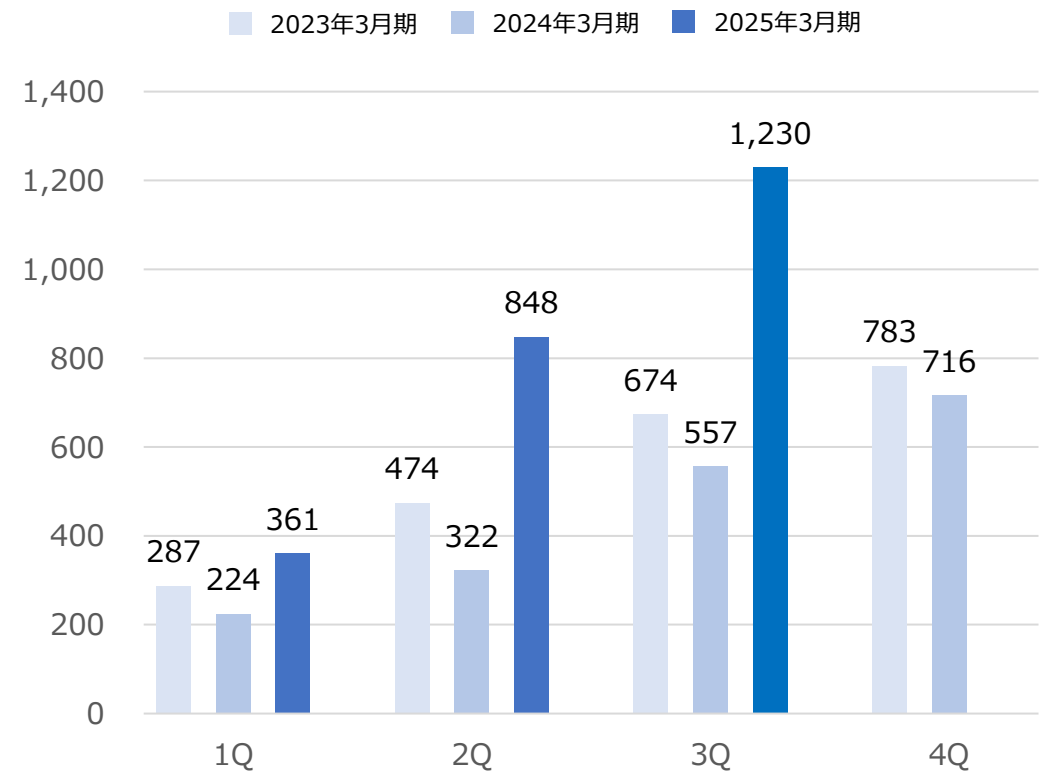
港御（香港）
有限公司

売上高が大幅に増加し、粗利率が上昇。販管費の増加を抑えたこともあり、営業利益率が前年同期の9.1%から11.5%へ改善し、累計営業利益が大幅に増益。

四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



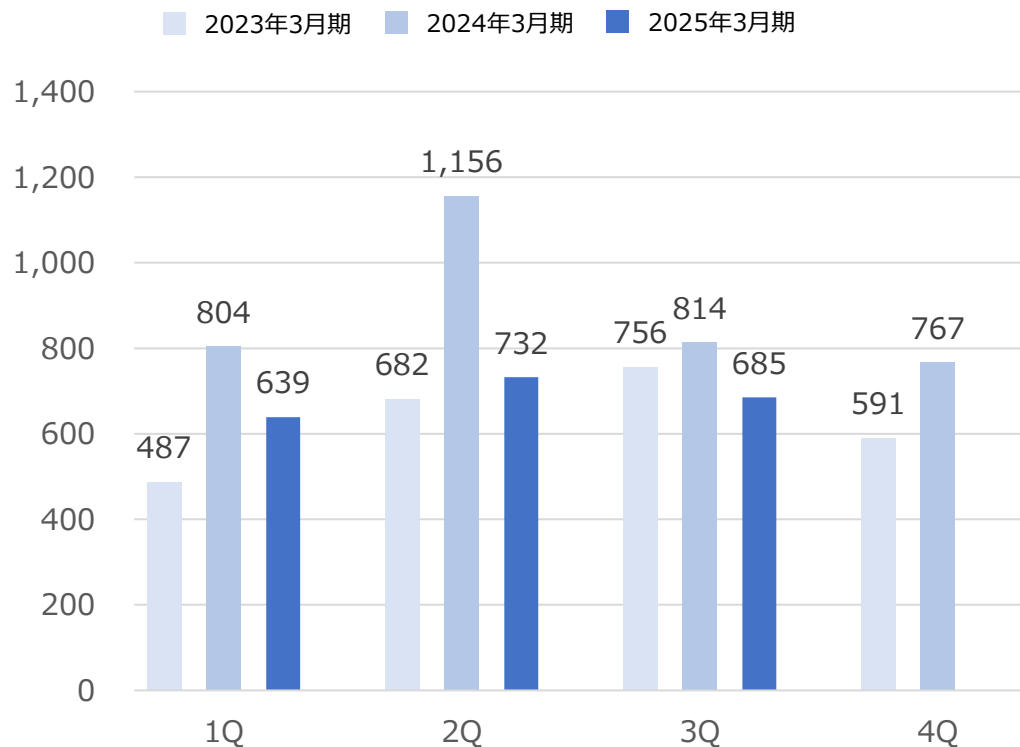
関連グループ会社： **MINATO**
ミナト・アドバンス・テクノロジーズ

Explorer

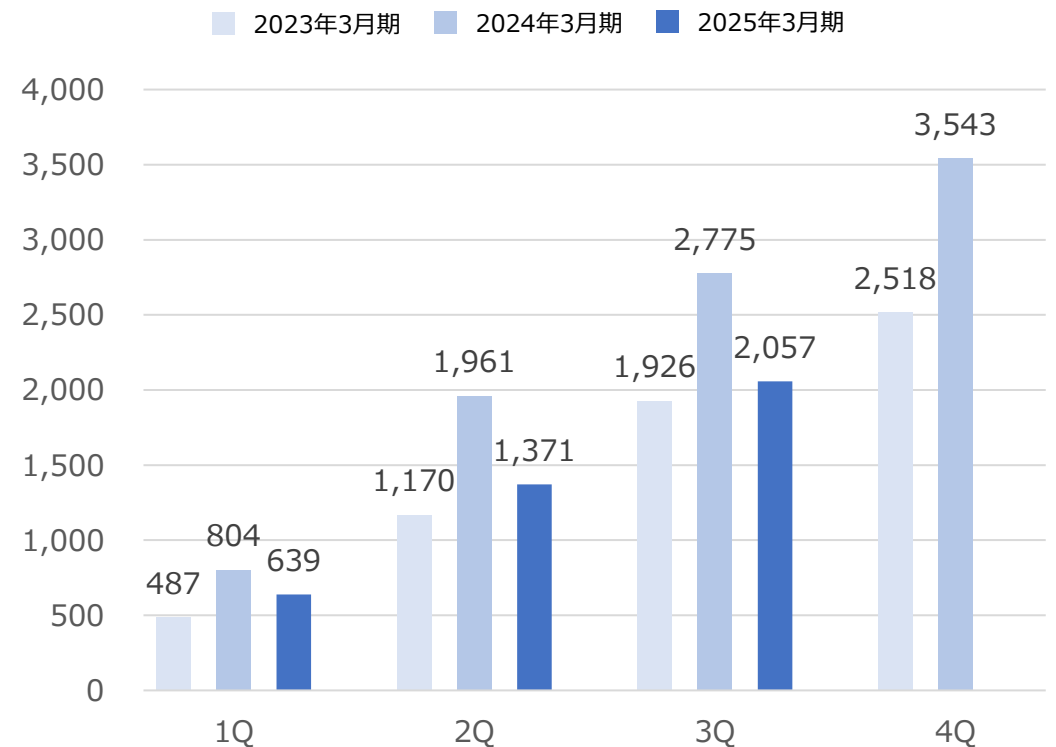
港御（上海）
 信息技术有限公司

国内製新型オートハンドラ、超薄型サイネージ「WiCanvas」やATM向けタッチパネルの販売が堅調に推移したものの、ROM書込みサービス事業での書込み数量減少により減収。

四半期売上高 (単位：百万円)



累計売上高 (単位：百万円)



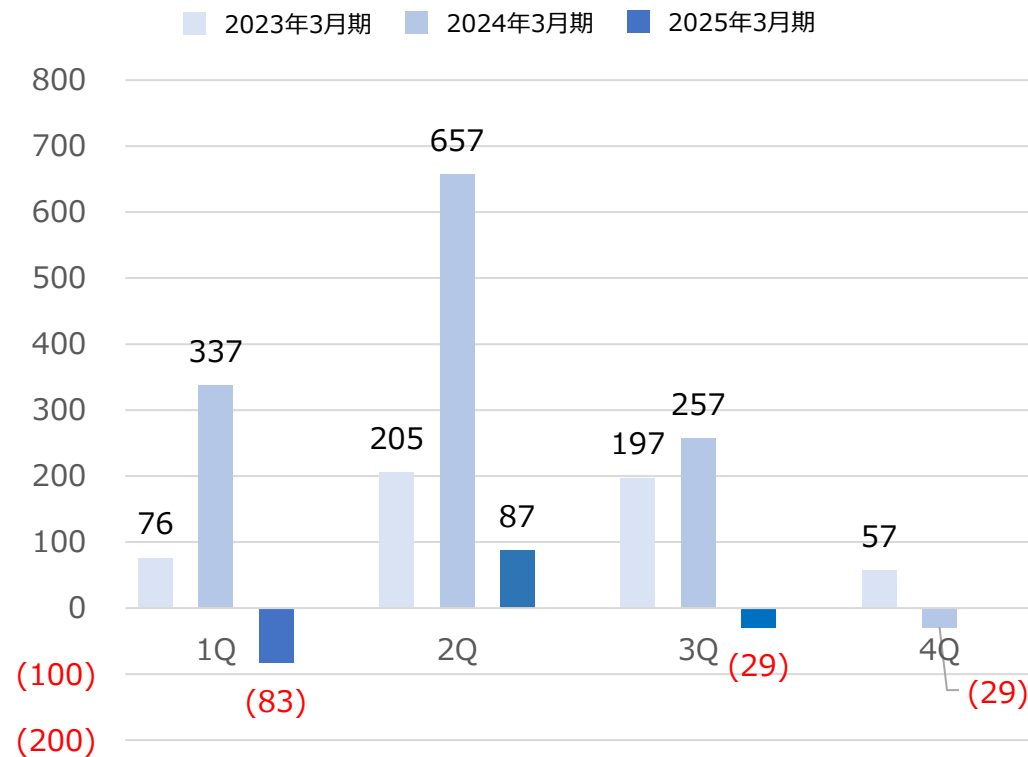
関連グループ会社： **MINATO**
ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ

Explorer

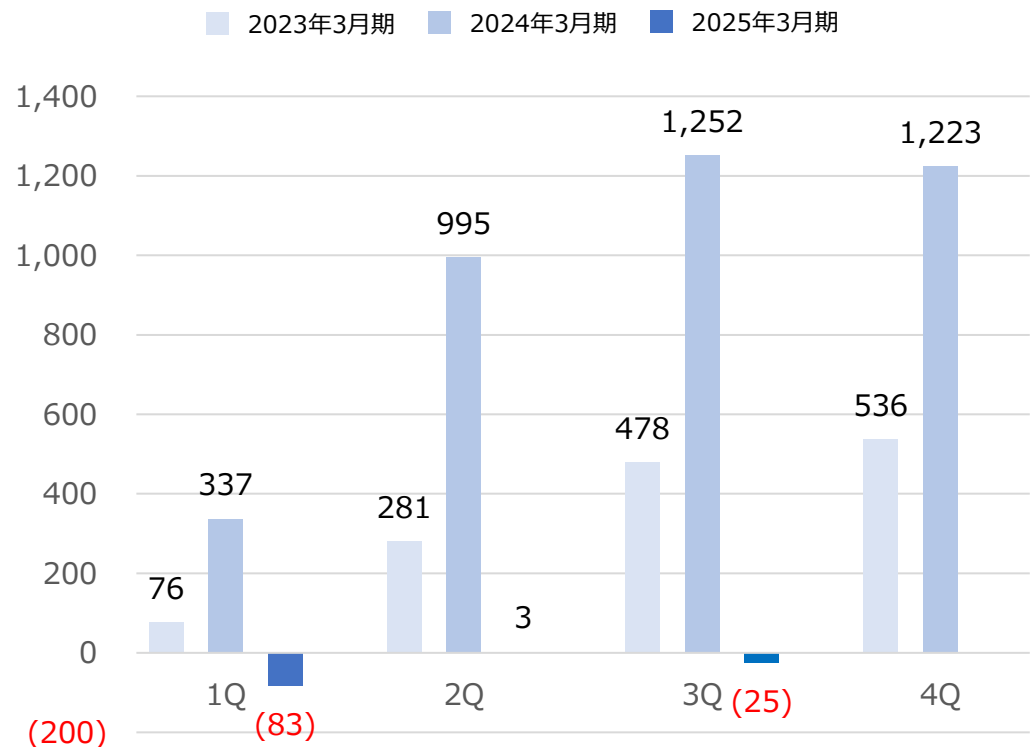
港御（上海）
 信息技术有限公司

ROM書込みサービス事業での減価償却費の増加、および日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと共同で実施する国内大手メーカーに向けたプロジェクトにおいて一時的なROM書込み数量の減少が大きく影響し大幅な減益。

四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



トピックス

MINATO
ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズの本社新社屋が2024年 11月18日に竣工

第一期工事完成後にROM書込みサービスの設備設置済み。作業スペースが旧本社の約5倍に拡大し、将来のさらなる需要拡大にも対応可能に。



トピックス

Explorer

エクスプローラが「Inter BEE 2024」に出展し、安定性向上機能を搭載した映像配信システムを展示

映像・音響、放送・通信など、コンテンツビジネスに関わる最新技術が国内外から一堂に会し、新製品の展示をおこなう日本随一の国際展示会「Inter BEE 2024」（会期：2024年11月13日～15日）にエクスプローラが出展。

海外への配信やAWS等のクラウドを介した配信等、映像が不安定になりやすい条件においても映像品質を維持できる機能を搭載したシステムのデモ展示を実施。

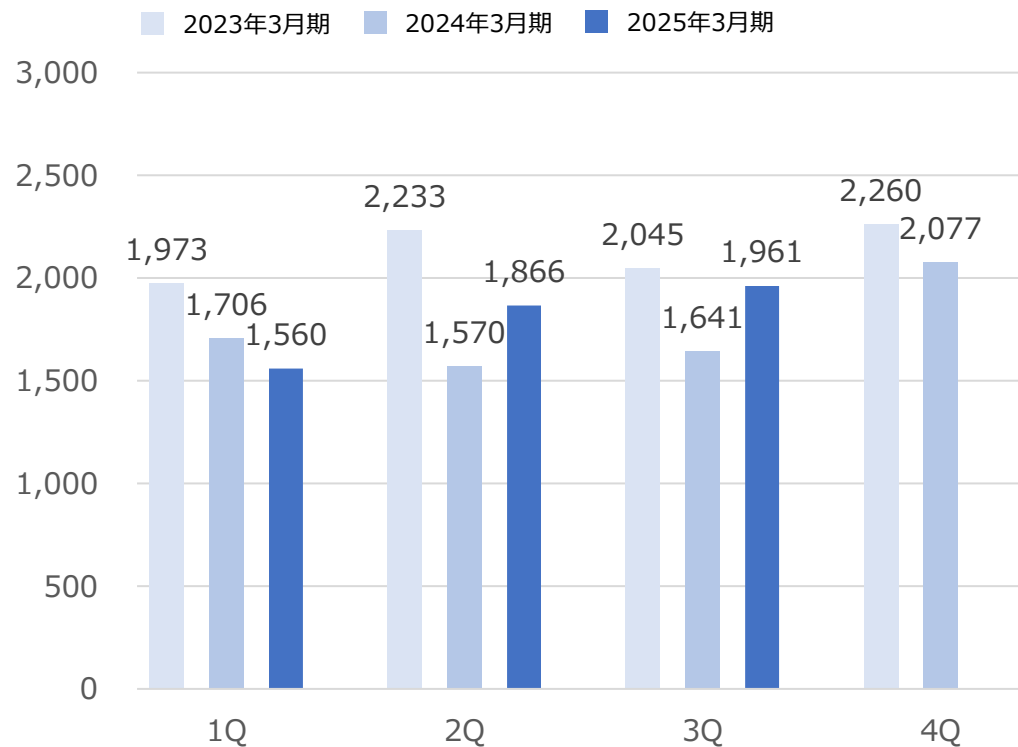


Inter BEE 2024に出展したエクスプローラのブース

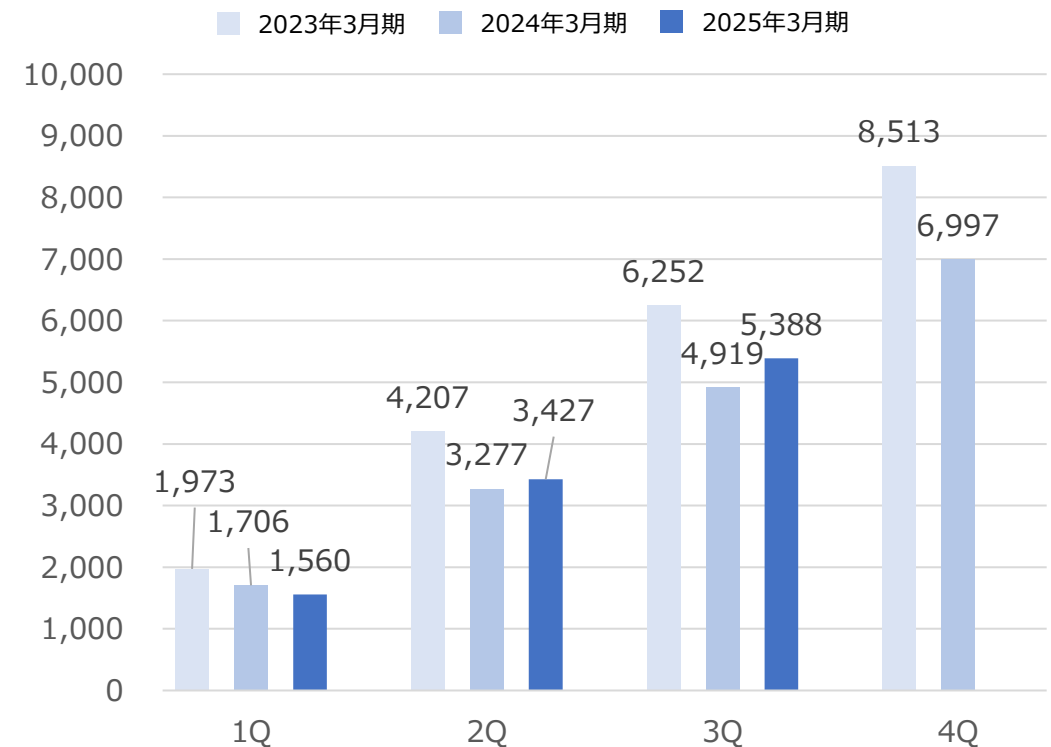
関連グループ会社： PRINCETON

デジタル関連機器事業において大型案件の受注や新規プロダクトの取り扱い開始等があり、前年同期を上回る販売実績を達成。

四半期売上高 (単位：百万円)



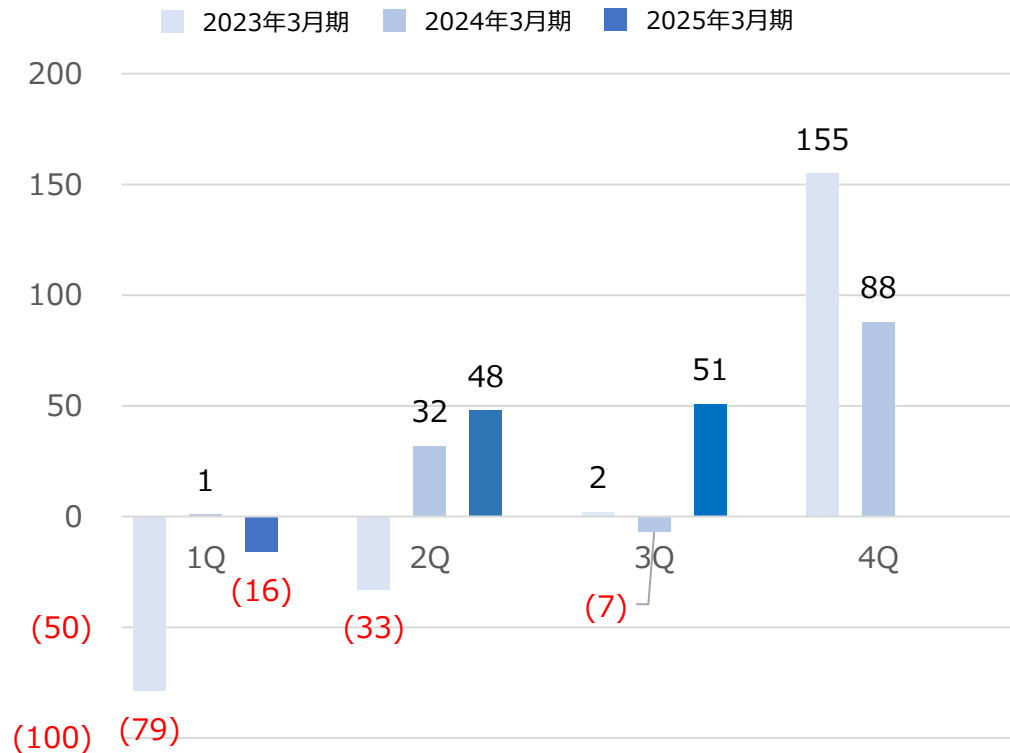
累計売上高 (単位：百万円)



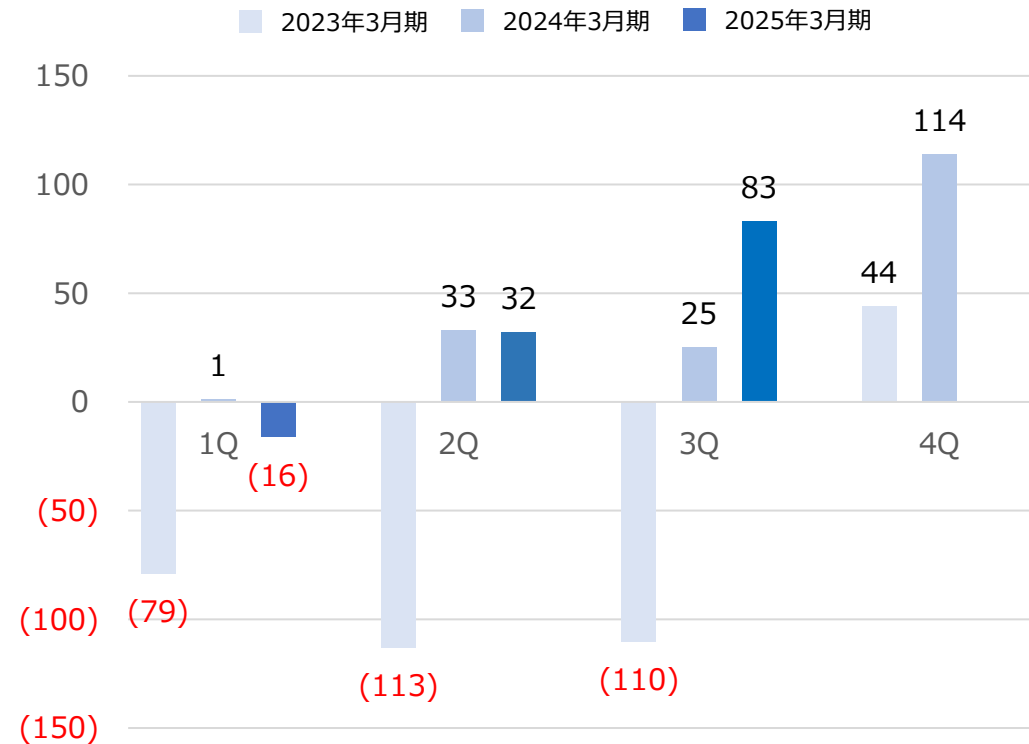
関連グループ会社： PRINCETON

テレワークソリューション事業において据置型会議システム全体の需要が軟調に推移。前期後半に取り扱いを開始したデジタル会議システムの立ち上がりが遅れているものの、デジタル関連機器事業が好調に推移し、前期比増益。

四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



トピックス

PRINCETON

プリンストンが九州地区でのビジネス拡大に対応するため、福岡市博多区に福岡支店を開設

プリンストンは2001年に福岡支店を設立して営業活動を展開してきたものの、需要の動向に応じた適切なリソース配分の観点から2023年2月に同支店を閉鎖。

その後、全社的な運営体制の見直しと効率化を進める中で、2024年には九州地区での新たなプロジェクト等を通じてビジネスが大幅に拡大。

こうした状況を受け、地域密着型のサービスの推進を目的に、2025年1月8日付で福岡市博多区のアクセス良好なエリアにグループ会社3社とのオフィスシェアによる拠点を再開設した。



プリンストン福岡支店が入居する「博多アーバンスクエア」

関連グループ会社：

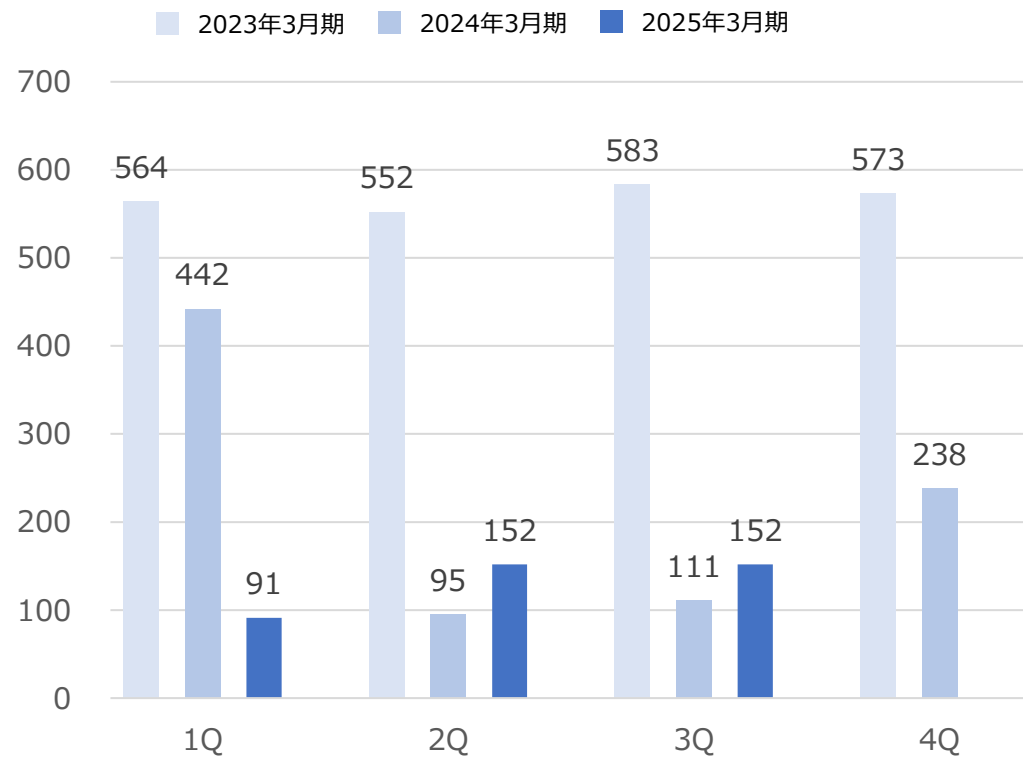


Rivers inc.

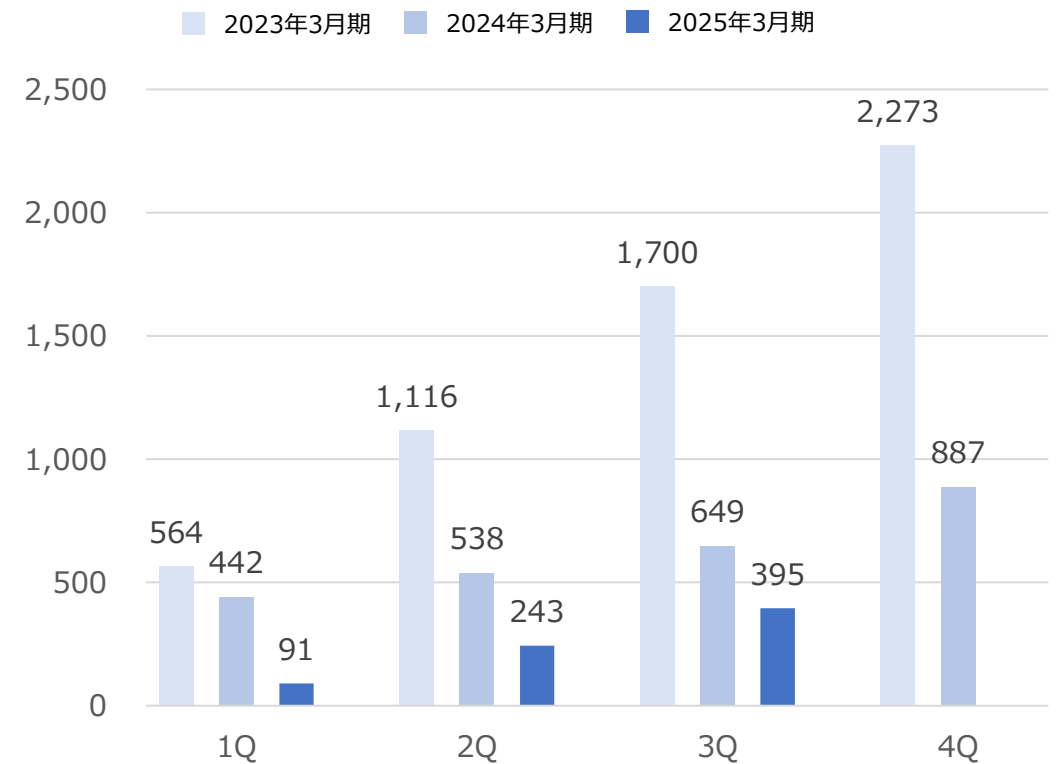


2023年6月に全株式を譲渡した株式会社クレイトソリューションズを連結範囲から除外したことが大きく影響し、前期比減収。

四半期売上高 (単位：百万円)



累計売上高 (単位：百万円)



関連グループ会社：

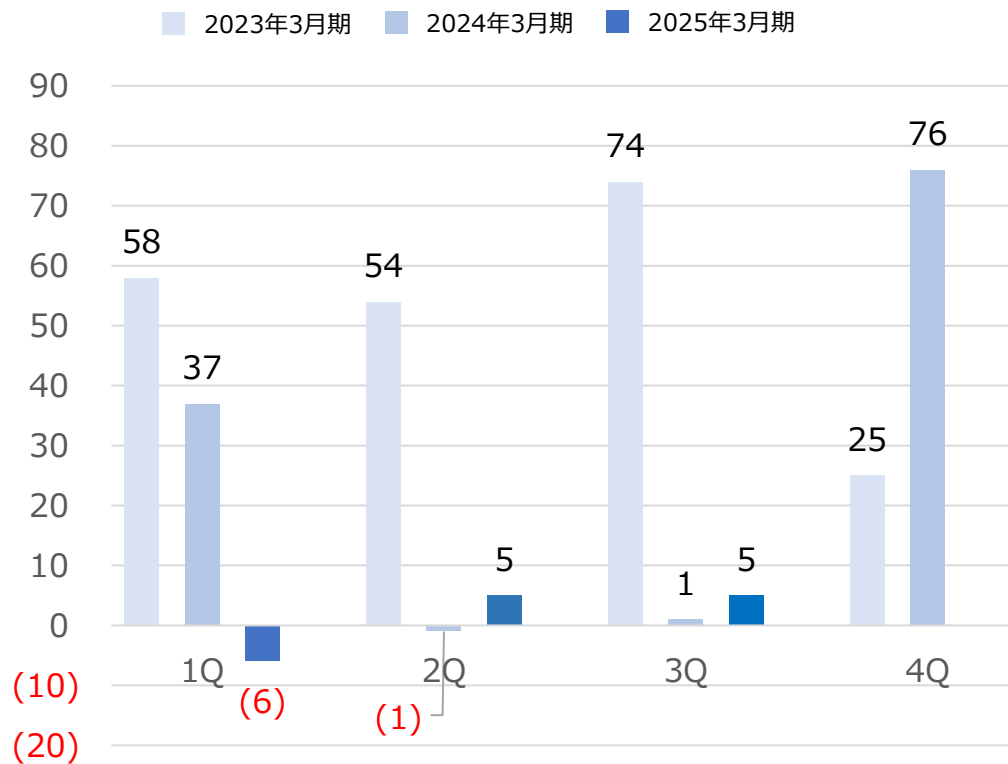


Rivers inc.

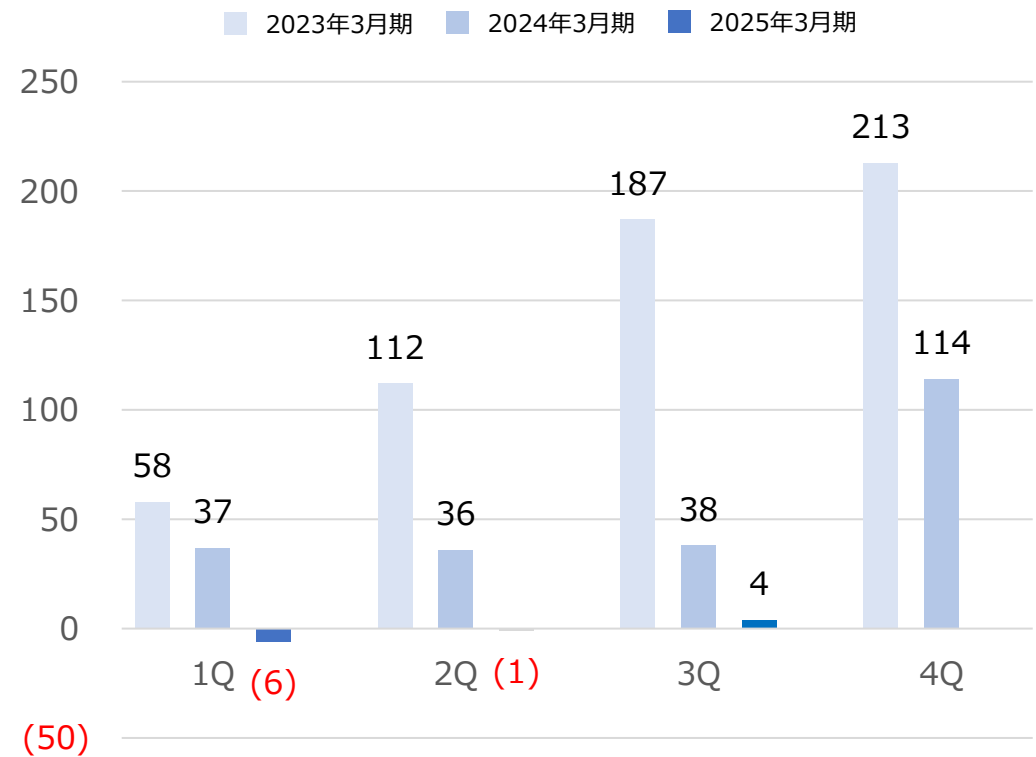


関連グループ会社の各事業において新たな案件獲得が進んだものの、当第3四半期においては費用が先行したこと、株式会社クレイトソリューションズの連結範囲からの除外により、前期比減益。

四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



4. ミナトグループの成長戦略

ミナトホールディングスグループは

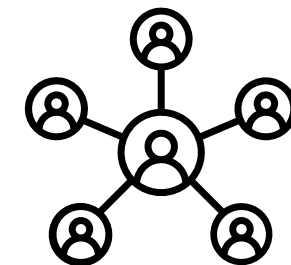
デジタルコンソーシアム構想 (DC構想)

の実現を目指します

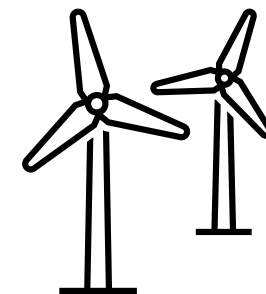
デジタルの分野に特化した技術力を持つ
企業との提携、M&Aを実施

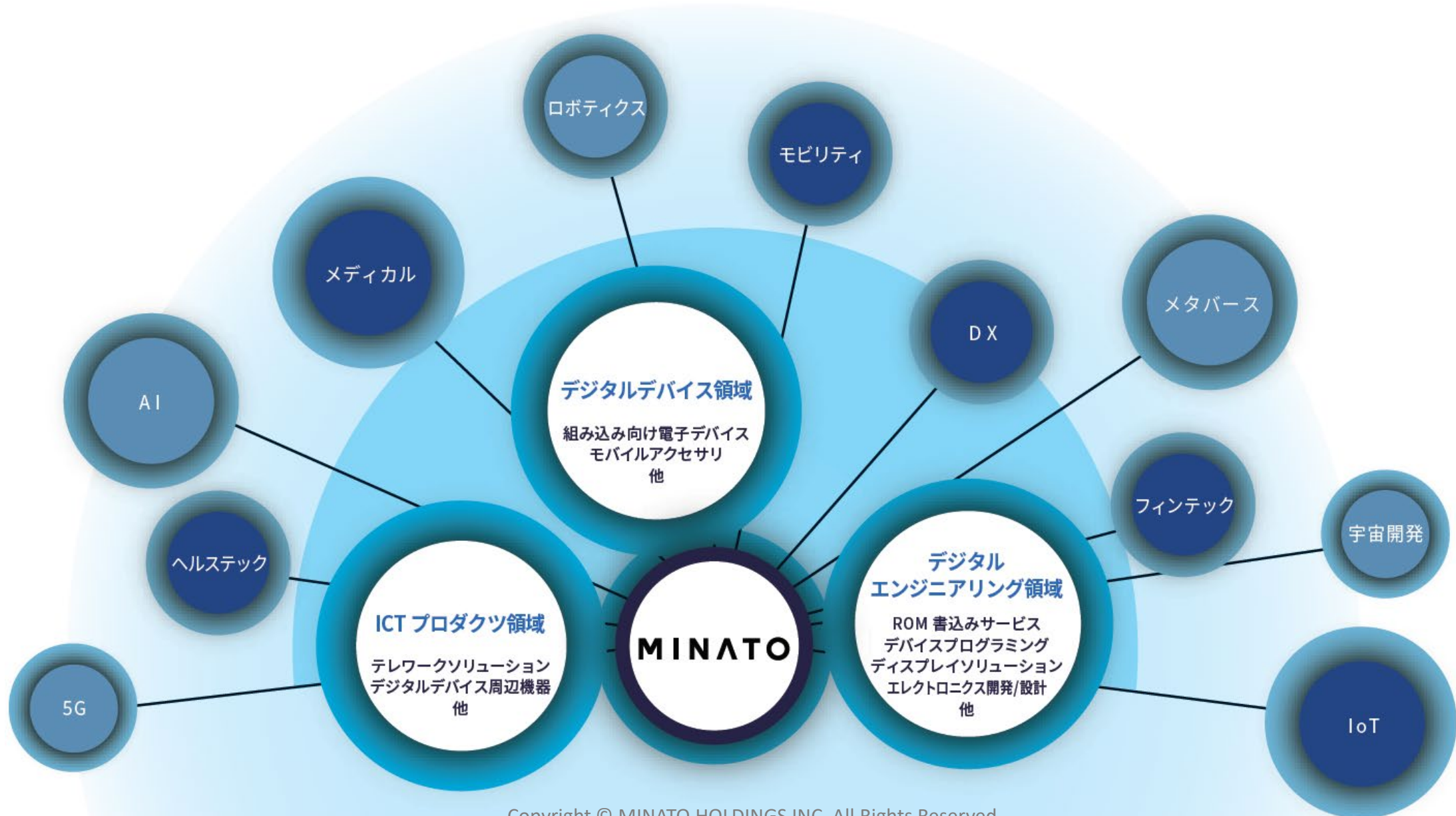


コンソーシアムの強化によるシナジー創出、
新しい製品やサービスの開発にも挑戦

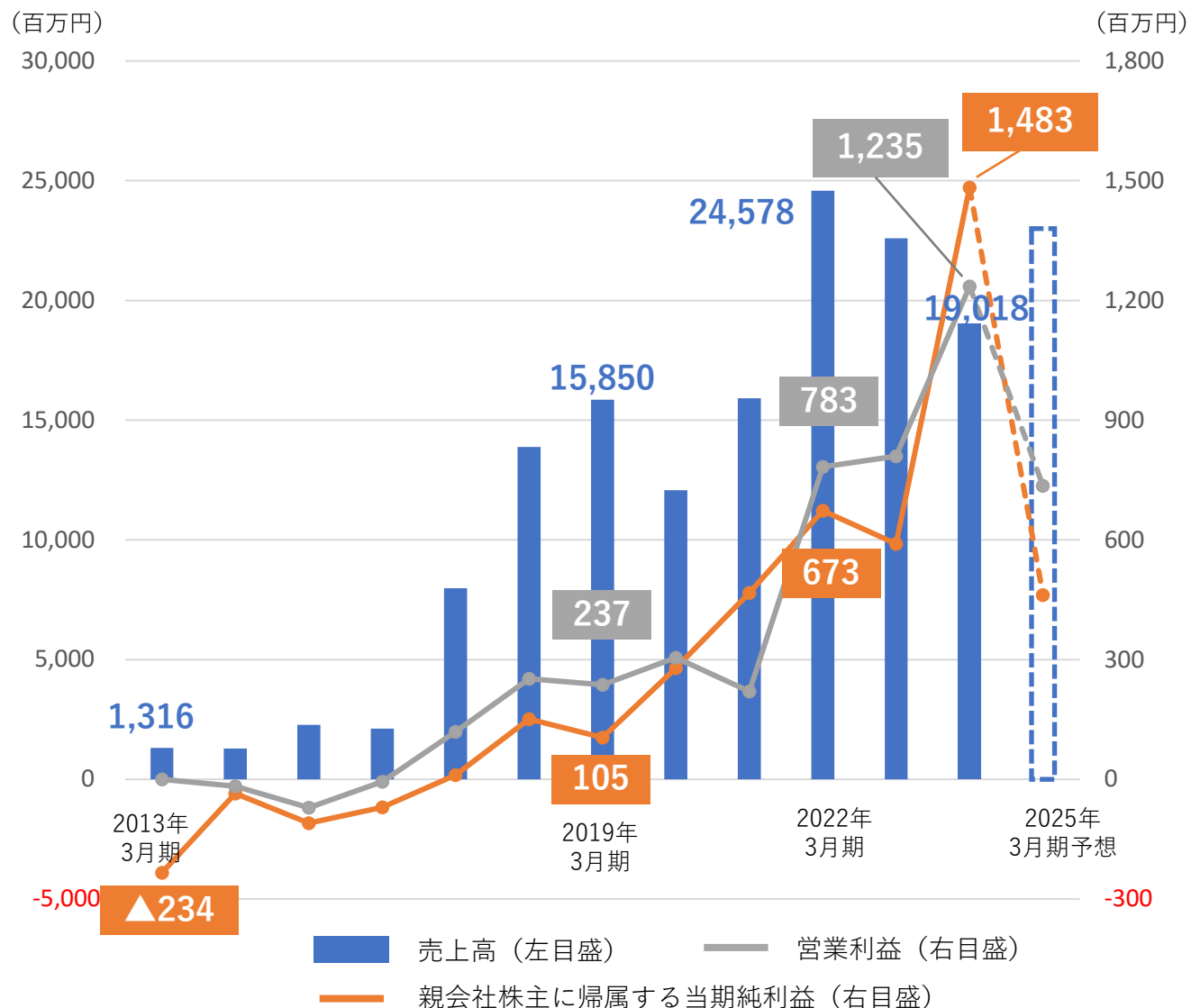


新しい市場を開拓することで人や社会に
貢献し、持続可能な未来を創造





これまでのDC構想実現に向けた取り組み



2014年 4月	イーアイティーを子会社化
2016年 4月	サンマックス・テクノロジーズを子会社化
2016年 12月	ミナト・フィナンシャル・パートナーズを設立
2017年 3月	日本ジョイントソリューションズを子会社化
2018年 10月	当社を持株会社体制に移行 ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ営業開始
2020年 4月	ジー・ワーカーを孫会社化
2020年 8月	プリンストンを子会社化
2021年 2月	アイティ・クラフトを子会社化
2021年 4月	パイオニア・ソフトを子会社化
2021年 12月	エクスペローラを子会社化
2022年 7月	パイオニア・ソフトとイーアイティーが合併し、 クレイトソリューションズ営業開始
2023年 1月	日本ジョイントソリューションズとアイティ・クラフトが合併
2023年 4月	サンマックス・テクノロジーズとジー・ワーカーが合併
2023年 4月	リバースを孫会社化
2023年 6月	クレイトソリューションズの株式を譲渡
2024年 3月	DediProg Japanを設立し合併会社化



https://www.minato.co.jp/document_files/ir/medium-term_business_plan/202301/MidTermStrategy2027%E2%80%97final.pdf

3つの重点テーマに基づき、デジタルコンソーシアム構想の実現を目指す

① **既存事業領域の更なる拡大**

デジタル技術の進化を取り入れたさらなる事業拡大

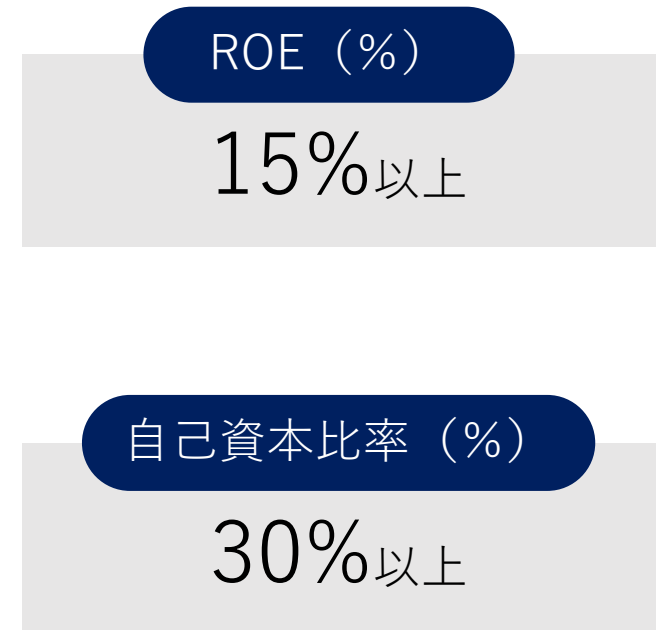
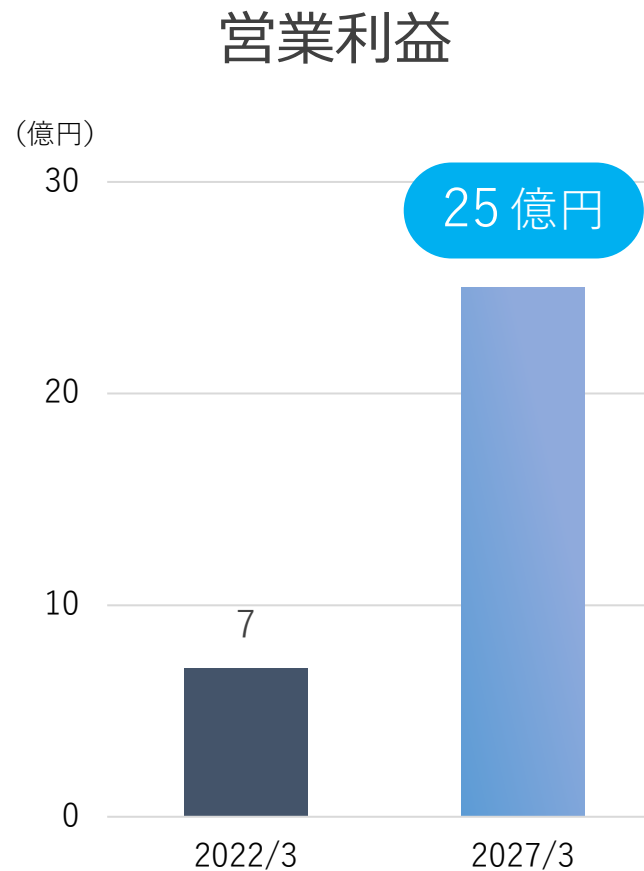
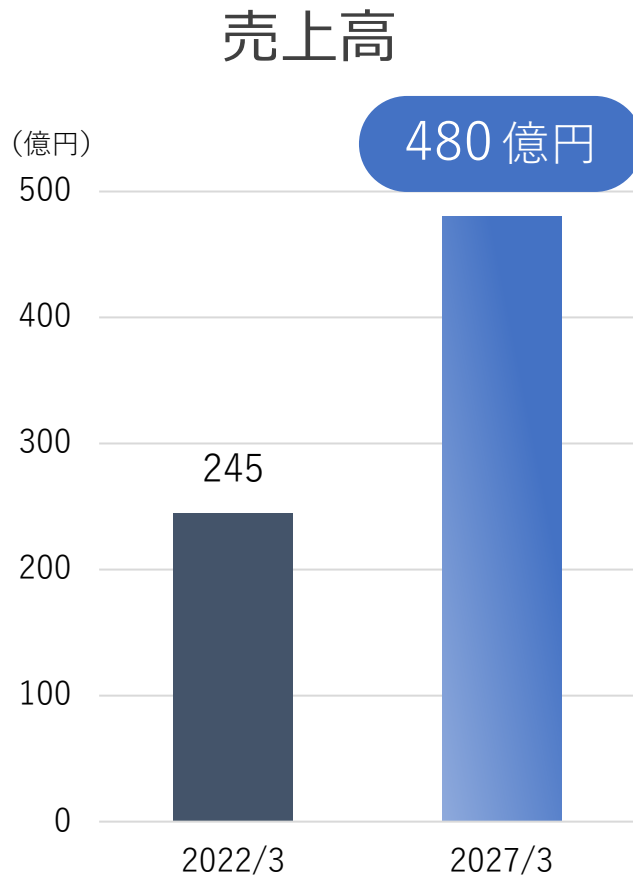
② **新規事業領域への投資（M&A/ベンチャー投資）**

強みの投資力を生かした新事業によるさらなる成長力の獲得

③ **グローバル展開**

海外拠点新設によるアジア市場へのビジネス拡大と、米国企業の新技術やビジネスモデルの取り組み

2023年6月1日付でシステム開発事業を担うグループ会社の株式を譲渡したが、連結売上高と営業利益の目標数値は維持。



DC構想実現による未来の社会の創造のための重要課題（マテリアリティ）を特定して取り組みを推進

▶ QOL向上の実現

高品質デジタル商品やデジタル技術を多くの方に届けることで、人々のQOLを向上



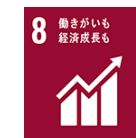
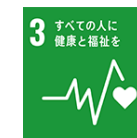
▶ 地球環境の保全

環境に配慮したオペレーションを実施するとともに、環境負荷を低減するための技術、サービスを提供



▶ 人材ダイバーシティを重視した働きやすい環境

多様な人材が活躍でき、一人ひとりが健康に働き続けられる職場

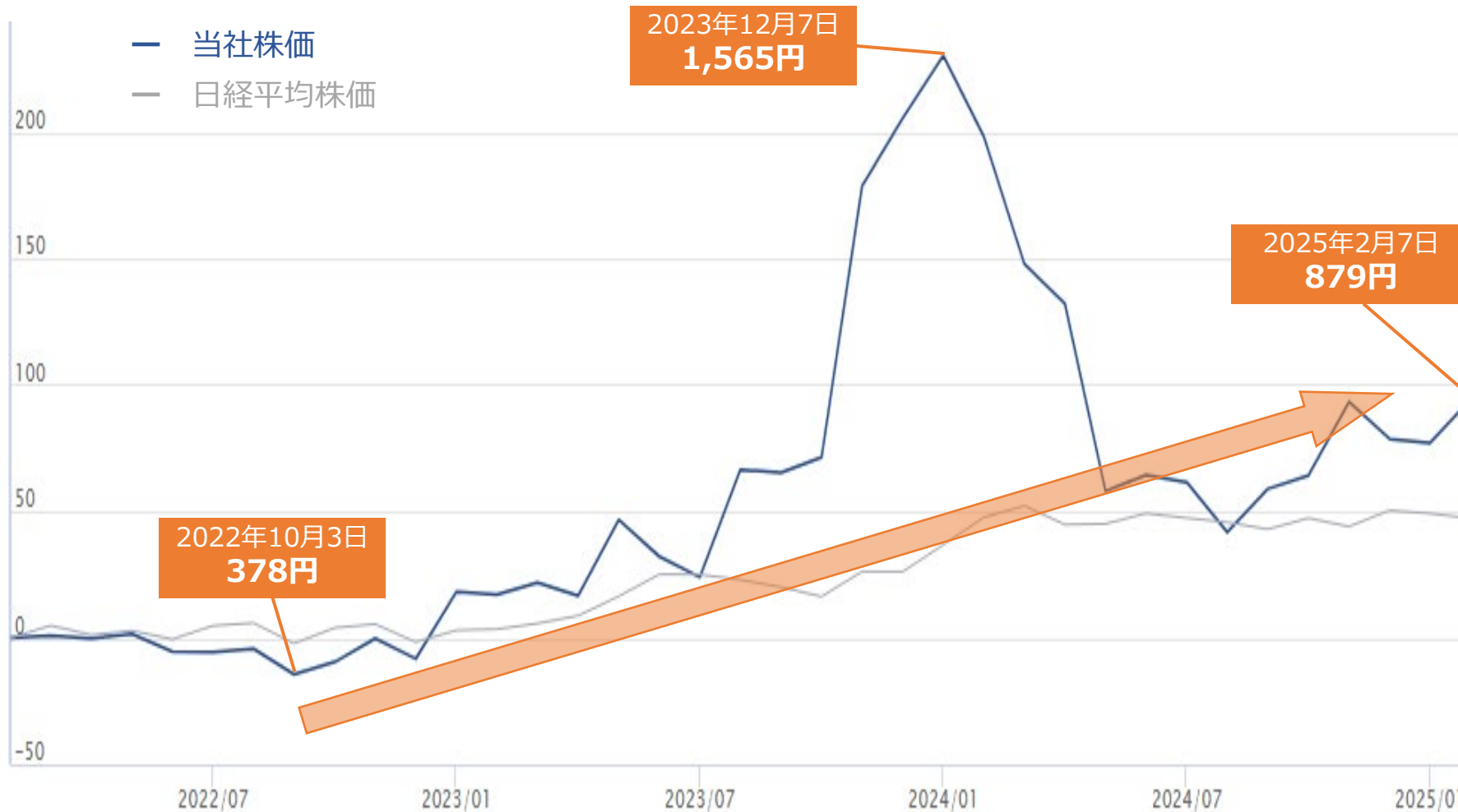


▶ 持続的な成長を可能にする経営基盤

持続的な成長を実現し、環境の変化に対応するための経営基盤、コーポレート・ガバナンス体制の強化



5. 株主還元

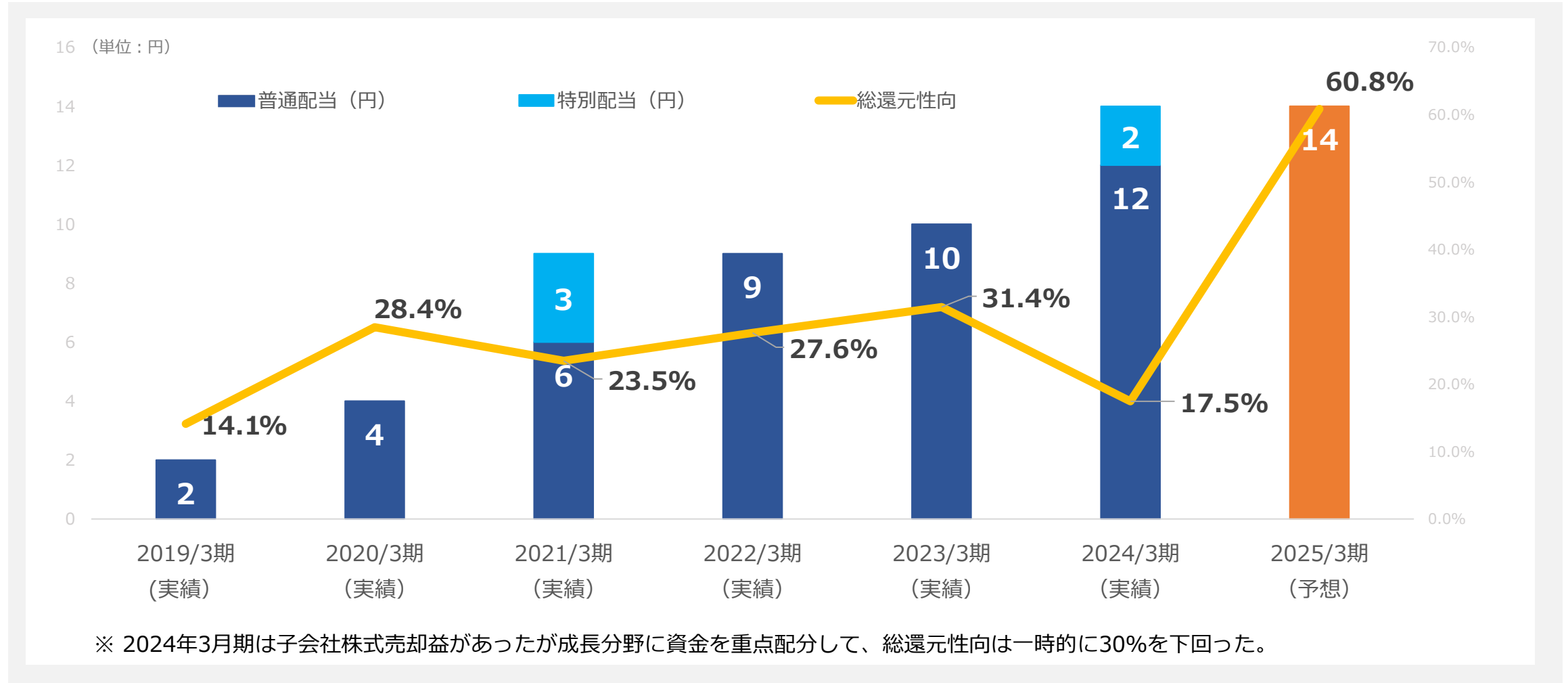


当社株価は2022年10月の安値378円から2023年12月には1,565円の高値を付け、現在は2.3倍に上昇（378円→879円）

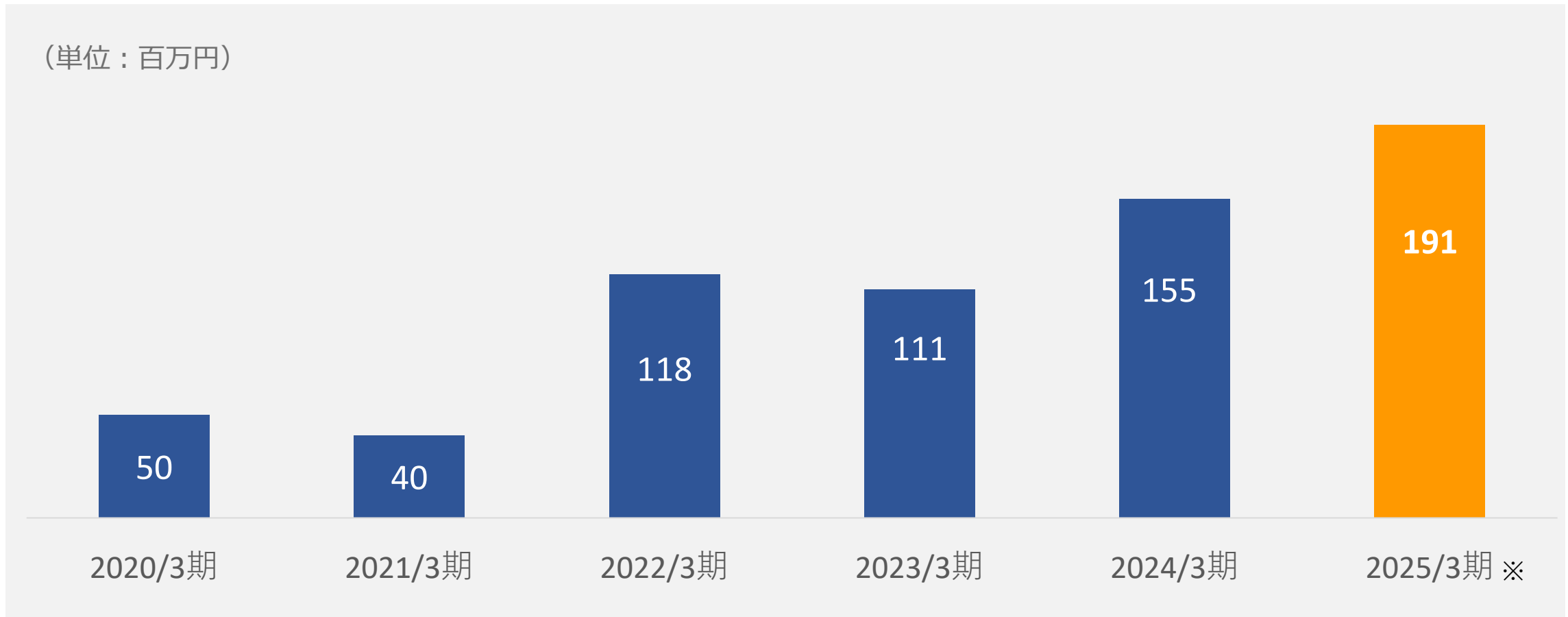
※ 株価グラフは終値の推移、2022年2月1日終値を0とした相对比较

※ 2022年10月3日、2023年12月7日の株価は取引時間中の株価を掲載

配当と自己株式取得により、総還元性向30%以上とする方針。2025年3月期は過去最大規模の自己株式取得を実施したこともあり、**総還元性向が大幅に上昇**



2025年3月期は合計で取得総数237千株、取得価額の総額191百万円となる過去最大規模の自己株式取得を実行



※ 2025年3月期は2024年2月および同年9月開催の取締役会決議分の合計実績。

企業価値を適正に評価いただけるよう、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視、積極的な情報開示を実践し、適切な株価水準を目指す

▶ 機関投資家とのミーティング

機関投資家との1on1ミーティングを実施。2023年3月期実績 27件、2024年3月期実績 58件、今後は過去実績を上回る回数のミーティング実施を目指す。

▶ 個人投資家向けIR説明会、展示会への出展

オンライン、オフラインの個人投資家向けIR説明会登壇やIR展示会への出展等を通じて、個人投資家の皆さまとのコミュニケーションを推進。



▶ IRサイトの拡充

IR最新情報や決算関連資料等の掲載に加え、財務データを多様なグラフにカスタマイズして表示できる分析ツール「チャートジェネレーター」を新たに導入。



https://www.minato.co.jp/ir/financial_report/chart/

6. Appendix 会社概要とグループ会社の事業内容

名 称	ミナトホールディングス株式会社 (MINATO HOLDINGS INC.)
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード：6862)
所 在 地	東京都港区新橋4丁目21番3号 新橋東急ビル
代 表 者	代表取締役会長 兼 グループCEO 若山 健彦 代表取締役社長 兼 COO 相澤 均
資 本 金	1,086百万円 (2024年12月31日現在)
設 立 日	1956年12月17日
事 業 内 容	グループ会社の経営管理
グ ル ー プ 会 社	10社：国内8社（うち持分法適用会社1社）、海外2社
グ ル ー プ 役 職 員 数	370名
グ ル ー プ 拠 点	国内：東京、神奈川、大阪、名古屋、福岡、函館、札幌、山口 海外：上海、香港、台湾

経営理念

常に新しい技術に挑戦し、
社会に価値ある製品やサービスを提供することで、
お客様、株主、従業員の満足度を高める企業になる。

ビジョン

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

Creating the Future by Digital Consortium

デジタルコンソーシアム構想とは

1. デジタルの分野に特化した技術力を持つ企業との提携、M&Aを実施
2. コンソーシアムの強化によるシナジー創出、新しい製品やサービスの開発にも挑戦
3. 新しい市場を開拓することで人や社会に貢献し、持続可能な未来を創造

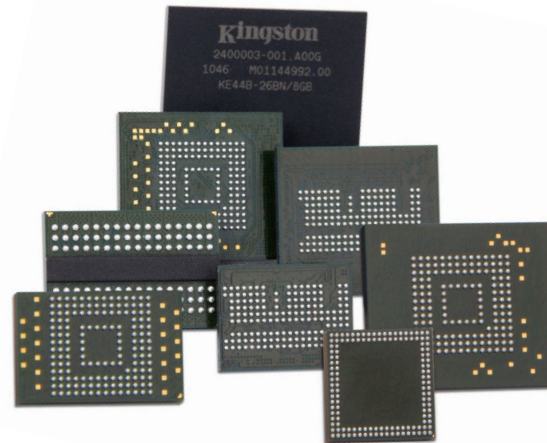




- サンマックス製メモリーモジュールおよび各種メモリー製品は、PC、サーバー、POSレジ、MFP(多機能デジタル複合機)、ATMなど多岐にわたる用途で使用されています。
- 供給安定性と全数検査による品質コントロールに強みを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社などのお客様の品質基準と幅広いニーズに対応しています。



DIMM
(Dual Inline Memory Module)



e•MMC™ / eMCP
(Kingston製品)



Flash Media



- AI 画像処理や産業用オートメーションにも採用されているエフィニックス社の FPGA、小売業店舗や交通系施設などで広く利用されているIDTECH社の非接触決済端末製品なども取り扱っています。
- モバイルアクセサリブランド「Tuna」 (トウナ) を展開しています。



FPGA
(書換えができる集積回路)



非接触決済端末



モバイルバッテリー



充電ケーブル

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 記憶装置にデータを書き込むデバイスプログラマや、自動プログラミングシステムの開発に加え、プログラムの書込みサービス（ROM書込みサービス）を展開しています。
- 新本社社屋が2024年11月に竣工。2024年2月の第一期工事完了後に追加設備投資を実施し、ROM書込みサービスの書込み能力を従来の約3.6倍に増強しました。



デバイスプログラマ



自動プログラミングシステム
(オートハンドラ)



ROM書込みサービス



新本社社屋

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 自動販売機やATM、屋外サイネージなどで使用され35年以上の実績を誇るタッチパネルから最先端の超薄型デジタルサイネージまで、幅広く取り扱っています。
- コンテンツ制作を含めた総合的なソリューションの提案が強みです。



タッチパネル



デジタルサイネージ
(WiCanvas)



PRINCETON

- 液晶モニター、メモリ、eスポーツ関連製品、PCやスマホなどのデジタルデバイス周辺機器を販売し、自社ECサイト「プリンストンダイレクト」を運営しています。
- ビデオ・音声会議システムおよび関連機器のブランドを網羅し、オーダーメイドのように組み合わせる最適なソリューションを提案します。



PC / スマホ /
タブレット周辺機器



ゲーミング関連製品
(ULTRA PLUS / HyperX)



ビデオ・音声会議システム周辺機器
(Poly / Cisco / Yealink)



Rivers inc.

Japan Joint Solutions

- ユーザーの要望に沿ったシステム開発、サイト設計・デザイン、コンテンツ戦略の提案・伴走支援などのサービスをワンストップで提供します。
- Webサイト制作・Webプロモーション、グラフィックデザイン・動画制作などを行う株式会社リバーズを子会社化しています。



Web制作



グラフィックデザイン



タッチパネルコンテンツ



動画制作



業務システム



Webアプリ



イベント企画・制作



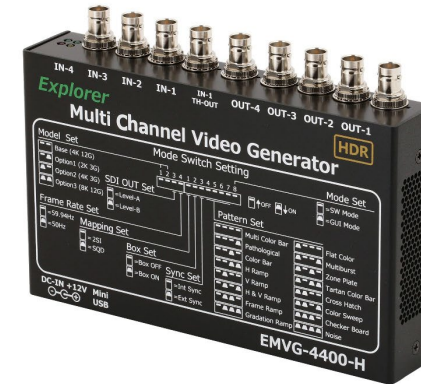
コンテンツマーケティング

Explorer

- ソフトウェアおよびハードウェアの仕様検討、設計等から筐体を含めた量産製造まで一貫した開発サービスを提供します。
- 産業機器／医療機器／通信機器／宇宙・防衛など、幅広い分野でODM／EMSサービスを提供しています。コーデック製品やSDI検査製品のほか、半導体製品（開発キット）なども販売しています。



SRTプロトコル搭載
H.265/HEVC 4K/2Kコーデックシステム



4K/8K HDR対応小型信号発生器



- 有望な技術を持つデジタル関連事業を手掛ける企業、成長が見込まれるベンチャー企業などに投資。日米のVCファンドへの投資も行います。
- 太陽光発電所プロジェクトへの投資、不動産投資、デジタルを活用したホテル型宿泊施設への投資など、グループの知見・ネットワークを活かした様々な資産への投資を実施中です。



太陽光発電所



ホテル型施設への投資



ベンチャー投資

免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

ミナトホールディングス株式会社

東証スタンダード市場：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、
コーポレート・コミュニケーショングループまで
お願いいたします。

TEL:03-5733-1710

MAIL:mnt_ir@minato.co.jp